

## 2023 年におけるチュチェ思想の重要性 — 複雑で危険、対立的な新世界秩序、新たな階級闘争 —

ヨーロッパ・チュチェ思想研究学会理事  
パリ大学名誉教授  
リーヌ・シニョディウム

チュチェ思想国際研究所は今日、朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎えてチュチェ思想研究セミナーを開催しました。

75 年間、朝鮮民主主義人民共和国は政治、経済、軍事、外交など全ての分野にかけて敵対勢力が敢行してきた歴史に類を見ない高い強度の圧力と脅威、制裁と封鎖の対象となりました。

この国が直面すべき挑戦はあまりにも残酷かつ危険であるからどの国さえ一日も耐えられなかったでしょう。

しかし、いかなる難関も朝鮮人民の前進を遮り、遅らせることができませんでした。これをどのように説明できるでしょうか。

私の考えでは朝鮮人民がチュチェ思想でしっかり武装したからだと思います。

チュチェ思想は、人間が世界で主人の地位を占め、世界の変化で決定的な役割を果たすことを明らかにしました。

人民大衆は革命と建設の主人であり、革命と建設を推し進める力を持っています。

言い換えれば、各自は自己の運命の主人であり、自己の運命を開拓できる力を持っています。

これに基づいてチュチェ思想は歴史の主人である人民大衆が自分の力で自己の運命を開拓するために進むべき道を指し示しています。

チュチェ思想は 1920 年代中葉、20 歳もならない年に日本の軍事的占領(1905~1945)から朝鮮と朝鮮人民を解放するための闘争の道について金日成主席(1912~1945)によって創始されました。

主席は朝鮮革命が進むべき道を模索していた時期にチュチェ思想を定立し、これを朝鮮革命の全般に具現しました。

植民地奴隷になっていた朝鮮人民はチュチェ思想によって自主独立国家の真の主人になり、自主、自立、自衛の社会主義国を建設しました。

政治における自主、経済における自立、国防における自衛は朝鮮民主主義人民共和国の発展方式を規定する基本思想であります。

チュチェ思想は人民大衆が自然改造と社会発展の主人であることを強調しています。

主席はチュチェ思想に基づいて朝鮮民主主義人民共和国を自主、自立、自衛の社会主義国家に建設しました。

朝鮮民主主義人民共和国の金正日総書記(1942～2011)はチュチェ思想を全一的に体系化し、豊富化させました。

こうしてチュチェ思想は朝鮮民主主義人民共和国の指導思想となり、この思想は国家建設で具体化されました。

チュチェ思想は金日成・金正日主義の基礎を成しています。

金正恩総書記は朝鮮労働党の指導思想である金日成・金正日主義の本質を人民第一主義に規定しました。

世界の社会主義偉業が失敗と危機にあえいでいたさる世紀の末に至って社会主義朝鮮でも状況は同じでした。

諸国で社会主義が崩壊されると、敵対勢力は急いで世界での「社会主義の終焉」を宣布し、攻撃の矛先を社会主義の旗のもとに変わりなく前進する朝鮮民主主義人民共和国に集中しました。

それで朝鮮人民は自分の社会主義を守るため類を見ない苦難の行軍をしなければなりませんでした。

この激しい対決の中で社会主義の砦である朝鮮民主主義人民共和国をなくそうとした敵の企図は失敗を免れることができませんでした。

金正日総書記の先軍政治によって朝鮮民主主義人民共和国の自衛的潜在力は一段と強化されて朝鮮の社会主義を固守し、朝鮮半島と世界の平和と安全を守るようになりました。

今日、金正恩総書記の指導のもとに朝鮮人民はチュチェ思想をより徹底的に具現しており、今もチュチェ思想の要求通り政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則をしっかりと堅持しています。

まさにここに一心団結の秘訣があります。

朝鮮民主主義人民共和国は全人民が朝鮮労働党の周りに固く団結された国であります。全党、全軍、全民が自分の指導者である金正恩総書記の周りに固く団結されています。

金正恩総書記は党中央委員会の各部署に住宅建設と台風と大水による災害復旧活動に動員されることについて、また黄海南道の農業に動員されることについての指示を与えました。

朝鮮労働党は常にチュチェの原理通り人民大衆に依拠しました。

金日成主席が実現した自主の原則は金正日総書記の原則でもありました。

金正日総書記は「思想も技術も文化もチュチェの要求どおりに！」と表現しました。

人類の自主化偉業に積み上げた金日成主席の業績は金正日総書記と朝鮮民主主義人民共和国の国務委員長である金正恩総書記によって引き続き光を放っています。

自主の旗印を高く掲げてチュチェ朝鮮の尊厳と生命力をいつも輝かせた金正恩総書記の指導のもとにチュチェの朝鮮民主主義人民共和国は人民の福祉を重んじ、国際舞台で尊敬を受ける自主的で近代的かつ、無敵の巨大な核強国として残っているでしょう。

今、チュチェ思想は現代に最も伝播力の強い思想として世界的範囲で幅広く広まっています。チュチェ思想国際研究所から各大陸と諸国の研究組織にいたるまで一つの組織体系に網羅されたチュチェ思想研究者は奮発しています。

今の国際的環境の中でチュチェ思想の具現は自分の存在を示威し、正義と環境の保護を求める人民にとって重要です。

人類に前途を指し示す思想が人々の心をとらえるのは当然のことです。

チュチェ思想は世界の自主化偉業の勝利的前進とともに永遠に輝くでしょう。